

単元名 おもいでを かたち(立体)

配当時間 4時間

- 単元の目標 (1) 粘土の特徴や思いに合う形を見付け、工夫して立体に表すことができる。
 (2) 楽しかったことや面白かったときの様子を基に、表したいことを考えるとともに、作品を色々な角度から見て、よさや面白さを感じ取ることができる。
 (3) 心に残っていることを楽しく立体に表そうとする。

標準的な展開例

02080303_001

【準備等】粘土（1 kg くらい）、粘土板、粘土べら、雑巾、竹ぐし

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 楽しかったことや面白かったことを思い出し、粘土で表したいことを考える。</p> <p>○教科書の参考作品を見て、どんな様子を表しているか発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤ちゃんをみんなで抱っこしているところ ・家族で海に行っているところ ・いい夢を見ているところ <p>○友達と話し合いながら、楽しかったことや面白かったことを思い出して話し合い、表したいことを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動会 ・校外学習 ・休み時間のこと <p>★楽しかったことや面白かったことを粘土で表そう</p> <p>2～4 表したいことを粘土を使って形にする。</p> <p>○粘土を丸めたり、こねたりして粘土に親しむ。</p> <p>○粘土をひねり出して、大まかな形をつくる。</p> <p>○手足の様子を工夫したり、細かい部分をつくったりする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・顔は笑顔にしよう。 <p>○どこで何をしているのかが分かるように、身体の動きや周りにあるものなども考えてつくり、仕上げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手をつないでいる様子にしよう。 ・こたつにみかんを置こう。 ・貝殻や蟹もつくろう。 ・浮き輪を持っていたな。 <p>○友達といろいろな向きから作品を見て、お互いの作品のよさや面白さについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課にみんなでタイヤとびじゃんけんをやっているところだよ。 ・たくさんの友達をつくってすごだね。 ・赤ちゃんを抱っこしているうれしそうところがよく分かるよ。 	<p>・教科書 1・2 下 P. 38, 39</p> <p>・うれしいときや面白いと感じた時は一人ではなく、いろんな人と関わっていることに気付かせる。</p> <p>・大きな行事だけでなく、日常にもうれしいことや楽しいことがあることに気付かせる。</p> <p>・アイデアが思い浮かばない児童には、日記を参考にさせるとよい。</p> <p>【評】話し合いの活動を通して、楽しかったことや面白かったことを基に表したいことを考える「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・粘土の性質をとらえさせるために、ちぎって丸める、のばす、積むなどして、粘土に慣れるようにする。</p> <p>・ひねり出しの粘土の技法を指導する。</p> <p>・手や胴体などは部分ごとにつくってつなげるのではなく、基本的にひねり出しの方法でつくるように促す。</p> <p>・頭の大きさを基準にして体の形のバランスに気を付けさせる。</p> <p>・薄く細くならないように伝える。</p> <p>・粘土べらや竹串は後半に出すようにし、まずは、身体の動きや全体の動きをつくるように促す。</p> <p>・いろいろな方向から見るようにさせる。</p> <p>・自分が表したいものになるように、手足の様子や動き、顔の表情を想像させる。</p> <p>【評】作品を通して、表したい場面を思い浮かべ、表し方を考える「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>【評】作品を通して、粘土の特徴や思いに合う形に気付きながら、工夫して立体に表す「知識・技能」を評価する。</p> <p>・形にした思い出を紹介し合う。</p> <p>・友達の作品のよさを味わわせる。</p> <p>【評】お互いの作品のよさや面白さを話し合う活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>【評】作品やこれまでの学習活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

【備 考】

特別な教科道徳との関連

A－(4)「自分の特徴に気付くこと。」B－(9)「友達と仲よくし、助け合うこと」などと関連が深い。表現しながら考えたことや、感じたことを道徳の学習につなげていきたい。